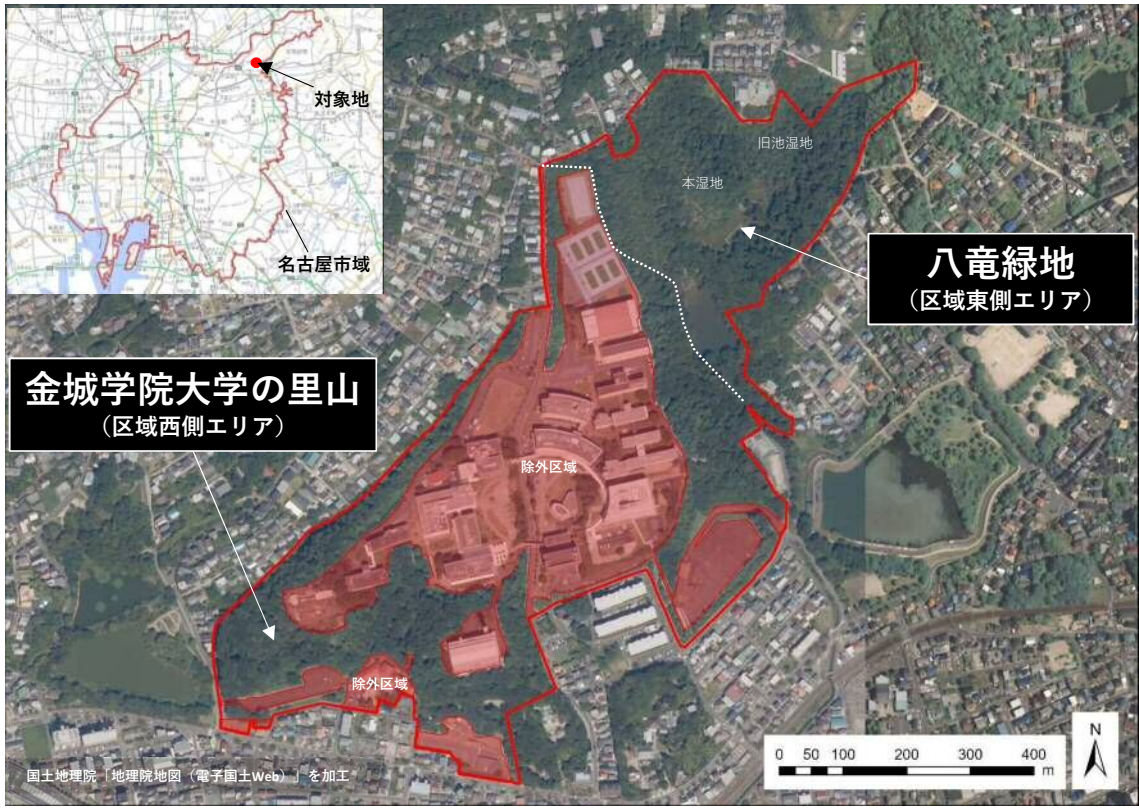


場所 愛知県名古屋市守山区

面積 18.98ha

- 活動目的**
- ①湿地を中心において緑地の保全に取り組む
 - ②樹林の保全・育成に取り組む
 - ③緑地の利用・活用に取り組む
 - ④地域連携・協働に取り組む
- (出典) 八竜緑地地区維持管理計画



サイト概要 本サイトは名古屋市東部の丘陵地帯の北端、標高約90mに位置する緑地である。土地は都市公園（特別緑地保全地区）の八竜緑地、金城学院大学内の緑地、吉定寺の社寺林など複数者により所有、管理されている。緑地内はアカマツ林とコナラ林を中心とした樹林地、湿地とため池があり、その環境を維持するため熱心な保全活動が実施されている。活動の結果、市内で最も良好な湿地環境と言われており、マメナシ、シラタマホシクサなどの東海地方固有の植物（東海丘陵要素植物群）や学術的にも重要なトウカイコモウセンゴケ、絶滅のおそれのある種が生育・生息するなど生物多様性保全上の重要なサイトとなっている。

**土地利用の
変遷**

【八竜緑地エリア】

過去、地域の共有地であったが1973年に名古屋市の環境事業所の建設が計画された。しかし、地元住民や金城学院大学の本田稔教授の熱心な保全活動により、名古屋市が買収した湿地と金城学院大学が所有していた土地を交換し、金城学院大学の所有地であった土地に環境事業所が建設され、湿地が守られた経緯がある。

【金城学院大学の里山エリア】

1949年に現在の場所に大学が建設された。当時は戦時中から終戦直後の樹木の過度な伐採等により「はげ山」であったが、現在は、コナラ・アベマキの大径木を中心とした落葉広葉樹の樹林地となっている。

**サイト周辺の
環境**

サイト周辺は、風致地区である市街地、愛知県営小幡緑地（約54ha）、社寺林、公園が配置され、大規模な樹林地帯を形成するなど、名古屋市内では比較的自然環境の豊かな地域となっている。

**アピール
ポイント**

- 環境省の重要湿地に選定され、マメナシ、シラタマホシクサ等の東海丘陵要素植物群やオワリサンショウウオ等絶滅危惧種他動植物が多数確認されている。
- 保全団体（会員約30名）が月6回以上定例の保全作業をするなど積極的に維持され、市内で最も良好な湿地環境が維持されている場所の一つとなっている。
- 緑地内は散策路が整備され、年間を通じて市民の自然とのふれあい、環境学習、憩い、健康増進の拠点となっている。また、金城学院大学の授業（生物学）での活用、学内の里山保全サークルの活動も行われているなど、生態系サービス（文化的）の価値も高い。

生物多様性の価値

価値（１）公的機関等によって、生物多様性保全上の重要性が既に認められている場

【選定されている制度名】

環境省 重要湿地：No.301 尾張丘陵・知多半島地域湧水湿地群

【選定理由や内容】

南北に伸びる尾張丘陵と知多丘陵に点在する数多くの湧水湿地のひとつとして八竜緑地内の八竜湿地が選定されている。マメナシ、シラタマホシクサをはじめとした東海丘陵要素植物（東海地方固有種・準固有種）や絶滅危惧植物の生育地として重要。

（参考）八竜緑地内の東海丘陵要素植物
シデコブシ、シラタマホシクサ、トウカイコモウセンゴケ、クロミノニシゴリ、マメナシ



写真の説明：八竜湿地の様子（本湿地）



写真の説明：マメナシ

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

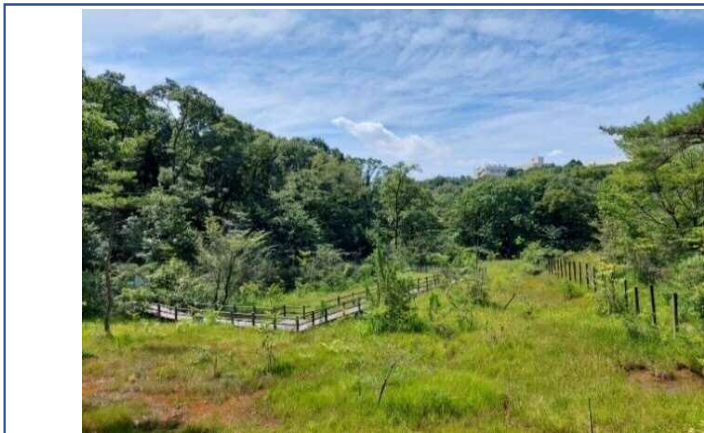
八竜緑地は約8千㎡の雨水を受け止め、地中に浸透させる働きを持っていると評価されている。また、緑地内は、森林や湿地を巡る散策路が整備され、市民が気軽に訪れることができる他、「水源の森と八竜湿地を守る会」による森林整備や湿地の自然観察等の活動に参加することができる。

【主な植生】

区域全体ではケネザサーコナラ群集、モチツツジアカマツ群集が優占しているが、一部アラカシ群落や竹林などが見られる箇所もある。サイト内の八竜湿地では、マメナシをはじめとした東海丘陵要素植物（東海地方固有種・準固有種）や湿地性の絶滅危惧植物を観察することができる。

【確認された主な動植物など】

- サイト全体では、植物494種、動物719種が確認されている。主な種は以下のとおりである。
- 植 物：コナラ（*Quercus serrata*）、コバノミツバツツジ（*Rhododendron reticulatum*）、チガヤ（*Imperata cylindrica* var. *koenigii*）、ススキ（*Miscanthus sinensis*）、ハルリンドウ（*Gentiana thunbergii* var. *thunbergii*）
- 哺乳類：タヌキ（*Nyctereutes procyonoides*）、アカギツネ（*Vulpes vulpes*）
- 鳥 類：コゲラ（*Dendrocopos kizuki*）、カワセミ（*Alcedo atthis*）、ウグイス（*Cettia diphone*）
- 爬虫類：クサガメ（*Mauremys reevesii*）
- 両生類：オワリサンショウウオ（*Hynobius owariensis*）
- 昆虫類：オオカマキリ（*Tenodera sinensis*）、ニイニゼミ（*Platypleura kaempferi*）、ムラサキシジミ（*Arhopala japonica*）、ヒメボタル（*Luciola parvula*）、ヒメジャノメ（*Mycalesis gotama fulginia*）、ハグロトンボ（*Atrocalopteryx atrata*）、アオスジアゲハ（*Graphium sarpedon nipponum*）
- クモ類：アシナガグモ（*Tetragnatha praedonia*）



写真の説明：湿地と散策路（木道）（本湿地）



写真の説明：自然観察会の様子（旧池湿地）

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

本サイトでは、区域中央に湿地がみられ、その他大半の区域がケネザサーコナラ群集、モチツツジアカマツ群集の二次林であり、現在もモザイク状の土地利用が残されている。このような湿地～二次林の環境に特徴的なサンショウウオやトンボ類などの希少な動植物が確認されている。

【確認された希少種】

本サイト内では、主に湿地とその周辺の二次林の区域で、環境省レッドリストまたは愛知県レッドリスト、名古屋市版レッドリストに掲載された希少種が確認されている。主な種は以下のとおり。

分類群	種名	学名	環境省	愛知県	名古屋市
哺乳類	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	-	VU	EN
爬虫類	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	NT	NT	VU
両生類	オワリサンショウウオ ※2022.4新種発表、RLカテゴリーは2020時点のヤマトサンショウウオのものを記載	<i>Hynobius owariensis</i>	VU	EN	CR
昆虫類	ハッチョウトンボ	<i>Nannophya pygmaea</i>	-	-	NT
	ヒメタイコウチ	<i>Nepa hoffmanni</i>	-	NT	VU
	マルチビゲンゴロウ	<i>Leiodytes frontalis</i>	NT	NT	NT
	ヒメボタル	<i>Luciola parvula</i>	-	-	NT
植物	シデコブシ	<i>Magnolia stellata</i>	NT	VU	CR
	シラタマホシクサ	<i>Eriocaulon nudicuspe</i>	VU	VU	EN
	マメナシ	<i>Pyrus calleryana</i> var. <i>dimorphophylla</i>	EN	CR	EN
	オオミズゴケ	<i>Sphagnum palustre</i>	NT	NT	NT



写真の説明：オワリサンショウウオ



写真の説明：ヒメタイコウチ

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容	モニタリング計画の内容
1 活動目的 中央部の湿地と水源となる周囲の樹林を一体的なものとして自然環境の保全・育成に取り組む。また、緑地としての適正な利用を促すだけでなく、地域の歴史・文化的な資産としての価値を地域に伝えていく。 2 活動内容・実施体制 本サイトを下記のとおりゾーニング ①八竜湿地を維持する中核的なゾーン ②八竜湿地水源林としてのアカマツ・コナラ樹林地ゾーン ③八竜緑地その他ゾーン ④金城学院大学の里山ゾーン 各ゾーンにおいて保全作業及び適正な利用（環境学習等）を行う。なお、全域において、希少種が確認されている場所では、その保全に留意して作業をするとともに、外来種は除去を行う。計画については、随時見直す。	【モニタリング対象】 ・ 植生調査 ・ 動物調査（クモ類、昆虫類、両生類、その他） ・ 水質・水量 【モニタリング場所】 八竜緑地及び金城学院大学の里山全域 【モニタリング手法】 ・ 踏査による動植物の生息確認 ・ Biomeアプリ（（株）バイオーム）を活用した市民調査（専門家チェックあり） ・ 専門家による詳細な動植物調査 【モニタリングの実施時期及び頻度】 ・ 専門家による詳細な動植物調査は5年に1回を予定。 ・ その他の調査は毎年実施予定。 【モニタリング実施体制】 金城学院大学、水源の森と八竜湿地を守る会、名古屋市（環境局）、なごや生物多様性保全活動協議会（なごビオ）